



3 学期始業式 校長式辞より（抜粋）



新年あけましておめでとうございます。

冬休みをゆっくりと過ごしましたか。

今年の目標やそれを達成させるための手立てを考えましたか。

今日の話しの1つ目のテーマは、「継続力」と「瞬発力」です。

私は、これまで成功した人や活躍している人を見ると、「継続力」と「瞬発力」の2つを身につけていると感じています。

「継続力」とは、毎日のように、こつこつと実践を繰り返し、地道に力をつけていくことです。習慣化という言葉で考えると分かりやすいと思います。継続力の本質は習慣化であり、継続力がある人とは、習慣が身につけている人ということでもあります。

「継続力」は、自分で鍛えて身に付けるもので、物事を成功させるための鍵となる重要なスキルです。自分から挨拶する、家で勉強する、机の上を片付ける、部屋を掃除する、家の手伝いをするなど習慣化していくと自分を成長させることができるようになると思います。

一方、「瞬発力」は頑張ると決めたことに、短期間または一定期間、集中して力をつけることであり、判断が速く、即座に行動できる能力であったりします。

集中力を高める努力をすれば、今まで以上に何事もうまくいく可能性が一気に高くなります。集中するためには、何かをやると決める以上に、それ以外のことはやらない、他のことをやらないと決めるほうが重要です。自分一人の時も集中して取り組み、「瞬発力」を磨いていきましょう。

さて、みなさんは「継続力」と「瞬発力」のどちらが自分では得意だと思いますか。すでに両方を身につけていますか。三学期は、この2つを意識して頑張してほしいものです。

今日2つ目のテーマは、「いじめ」と「人間の差異」です。

「差異」とは、2つ以上のものを比べた時の違いです。人の個性、性格や特徴には、違いや差があります。自分と大きく違っていると、その違いを理解したとしても、意地悪をしたり、悪口を言ったり、仲間外れにしたりしてしまうことはないでしょうか。

ぜひ、想像力を発揮し、相手のことを考え、適切な距離感で接し、人を排除する行動は慎んでほしいものです。ひとりぼっちにしないでほしいのです。もし、ひとりぼっちにしたら、しっかり謝りましょう。見たら勇気を出して注意しましょう。

私は、違いを認めることが、本当の自由ということだと思っています。

今日の1冊です。「いじめられている君へ いじめている君へ いじめを見ている君へ」という本の中から、さかなクンの「広い海へ出てみよう」を取り上げました。

今日の1曲です。「SEKAINO OWARI」の「プレゼント」です。この「プレゼント」という曲は、Nコン2015年の中学校の課題曲です。

どちらも、ひとりぼっちにしないというのがポイントだと思います。

ひとりぼっちにしないで、みんなで楽しい一中を創っていきましょう。

今日の 1 冊：いじめられている君へ いじめている君へ いじめを見ている君へ

広い海へ出てみよう（朝日新聞2006年12月2日掲載）/東京海洋大学客員准教授-さかなクン

中1のとき、吹奏楽部で一緒だった友人に、だれも口をきかなくなったときがありました。いばっていた先輩が3年になってとたん、無視されたこともありました。突然のことでわけわかりませんでした。

でも、さかなの世界と似ていました。たとえばメジナは海の中で仲良く群れて泳いでいます。せまい水槽と一緒に入れたら、1匹を仲間はずれにして攻撃し始めたのです。けがしてかわいそうで、そのさかなを別の水槽に入れました。すると、残ったメジナは別の1匹をいじめ始めました。助け出しても、また次のいじめられっ子が出てきます。いじめっ子を水槽から出しても新たないじめっ子があらわれます。

広い海の中ならこんなことはないのに、小さな世界に閉じこめると、なぜかいじめが始まるのです。同じ場所にすみ、同じエサを食べる、同じ種類同士です。

中学時代のいじめも、小さな部活動でおきました。ぼくは、いじめる子たちに「なんで？」ときけません。でも、仲間はずれにされた子と、よくさかなつりに行きました。学校から離れて、海岸で一緒に糸をたれているだけで、その子はほっとした表情になっていました。話を聞いてあげたり、励ましたりできなかつたけど、誰かが隣にいてくれるだけで安心できたのかもしれない。

ぼくは、変わりものですが、大自然のなか、さかなに夢中になっていたらいやなことも忘れます。大切な友達ができる時期、小さなカゴの中でだれかをいじめたり、悩んだりしても楽しい思い出は残りません。外には楽しいことがたくさんあるのもったいないですよ。広い空の下、広い海へ出てみましょう。

今日の 1 曲：プレゼント（SEKAI NO OWARI）

作詞 Saori（SEKAI NO OWARI） 作曲 Nakajin（SEKAI NO OWARI） 編曲 大田桜子

「知らない」という言葉の意味
間違えていたんだ
知らない人のこと
いつの間にか「嫌い」と言っていたよ

何も知らずに
知ろうともしなかった人のこと
どうして「嫌い」なんて言ったのだろう
流されていたんだ

「知らない」ことは怖いから
醜い言葉ばかり吐き出して誤魔化して
自分のことまで嫌わないで

ひとりぼっちになりたくない
ここにいてよ
その言葉言えなくて
心閉ざさないで

ひとりぼっちにさせないから
大丈夫だよ
その言葉返せるように
強くなりたい

「人生」のこと
あまりにも問題ばかり起きるから
難問解決プログラムなのかと思っていたけれど

気づいたんだ
「プレゼント」みたいなものなんだから
何十年か好きに生きていい特別なプレゼント

だから楽しみにしながら
ゆっくり開けたら良いんだ
自分自身にその言葉を贈るよ
いつも忘れちゃうから

ひとりぼっちになりたくない
ここにいてよ
その言葉言えなくて
心閉ざさないで

ひとりぼっちにさせないから
大丈夫だよ
その言葉返せるように
強くなりたい

いま君のいる世界が
辛くて泣きそうでも
それさえも「プレゼント」
だったと笑える日が必ず来る

ひとりぼっちになって
気付いた
本当は大切な人がたくさん
いるんだってことが

ひとりぼっちにさせないから
大丈夫だよ
その言葉返せるように
強くなりたい

